

# やひこ 散歩ノート

# ついきき 鋴起工房 清雅堂

創業：1945年

本社所在地：弥彦村麓4693

主な業務内容：鍛金、鋴起の伝統技法による手作り銅・銀・錫器製造

HP：http://www.seigado.net/



▲銅製 紫銅色 タンブラー (左)  
純錫 ぐい呑み (右)  
錫製の器はお酒の味がまろやかになります。

**弥** 彦村の様々な情報を紹介している「やひこ散歩ノート」。  
第三弾は戦後まもなく創業された**株式会社清雅堂（麓）**。  
初代の西片巳則さんは、彫金師として燕市で修業を重ね、生家のあった旧分水町で独立しました。2代目の西片正さんに跡を継ぎ、1991（平成3）年、現在の弥彦村麓に工房を移設しました。

耳口打ち出し湯沸かしを  
制作中の西片亮太さん▼



耳口打ち出し湯沸かし▶

鋴起技術で制作できる職人は国内でも数人だけです。

越後鋴起の起源は、明和年間（1764～1771年）に、現在は閉山していますが、**弥彦山の間瀬銅山**で銅が産出され、仙台の藤七という職人から鋴起銅器の技術が伝えられて製造が始まりました。その後、越後鋴起は日常品銅器から工芸品へと経ながら、**200年**以上も**継承**されている伝統技法です。  
鋴起とは、一枚の金属素材を様々な種類の鋴と当て金を使い、打ち延べ、打ち縮めて製品を作る伝統技術です。  
1打1打丹精込めて作られる鋴起製品は、1つとして同じものはありません。弥彦村ふるさと納税でも**タンブラー**や**ぐい呑み**等、清雅堂の製品を返礼品として取り扱っています。皆さんもぜひ清雅堂の鋴起製品を手にとってみてはいかがでしょうか。



銅製酒器セットで  
美味しく一杯！

兄：西片亮太さん（左）  
弟：西片浩さん（右）▶



## 村長席から



先日、美山地区の村政懇談会の場で、「役場の受付のところ以案内係を置いてもらいたい」との強い要望をいただきました。職員の皆さんに対する応対は、意識の切り替えでこの一、二年非難される事がほとんどなくなりました。むしろ「良くなった」と言っていたことが多くなりました。

それでも、お隣の燕市の市役所の対応と比べて「まだ足りない」とのご指摘をいただくことがあります。また、専門の案内係の要望は美山以外にも出ています。私も案内係が必要なことは十分わかっています。しかし、今の役場の人員体制から判断しますと、現役の職員を充てることは出来ません。職員のOBにお願いする手もありますが、現実はなかなか難しいようです。

そこで考えました。村民の皆さんの中でボランティアで案内係を買って出ただけの方はおられませんでしょうか。できれば女性の方をお願い出来ればと思っています。年齢は問いません。もし、関心がありでしたら役場の住民課にお電話ください。よろしく願いいたします。電話番号は（94）3132です。

弥彦村長 小林豊彦